



創刊65周年記念

65th Anniversary

2019.10.4fri-12.25wed

展

乙女には恋と夢が必要だ☆

展示予定作家一覧

- ★手塚治虫 ★大和和紀 ★高階良子 ★美内すずえ ★
- ★たかなし♥しずえ ★あべゆりこ ★あさぎり夕 ★ひうらさとる ★秋元奈美 ★
- ★武内直子 ★猫部ねこ ★木村千歌 ★高瀬綾 ★あゆみゆい ★早稻田ちえ ★CLAMP ★安野モヨコ ★
- ★海野つなみ ★川村美香 ★立川恵(複製原画) ★安藤なつみ ★花森ぴんく ★PEACH-PIT ★他

現存するマンガ雑誌の中で最も長い歴史を持つ「なかよし」(講談社)は、1955年に創刊されました(発売は1954年12月)。当初は手塚治虫が目玉となって活躍し、「リボンの騎士」などの作品が人気を牽引しました。その後1970年代に「地獄でメスが光る」「おはよう! スパイク」、1980年代に「妖鬼妃伝」「なな色マジック」「きんぎょ注意報!」「ミンミン!」、1990年代には「ミラクル☆ガールズ」「美少女戦士セーラームーン」「あずきちゃん」「魔法騎士レイアース」「カードキャプターさくら」の他、様々な人気作品を掲載。1993年9月号の発行部数は過去最高の200万部を超えました。2020年に創刊65周年を迎える「なかよし」の歴史を紹介し、長く愛され続ける魅力に迫ります。

特別協力 ◆ 「なかよし」編集部/講談社

作品保護のためカラー原画の展示替えを致します*展示構成・出版作家は変わらず、原画のみが入れ替わります。
 前期: 10/4(金)~10/27(日) 中期: 10/29(火)~11/24(日) 後期: 11/26(火)~12/25(水)

担当学芸員による
ギャラリートーク

10.12 @ 11.10 @ 12.14 @
 すべて午後2時より
 事前申込不要、無料(要入館料)
 詳細はHPをご覧ください



東京メトロ千代田線(根津駅)or
 南北線(大塚駅)共に徒歩7分
 JR上野駅公園口・しのばず口より
 徒歩20分(東京大学 弥生門斜め前)
 *駐車場はございませんので、
 お車でお越しはご遠慮ください。

弥生美術館
 Yayoi Museum
 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3
 TEL 03-3812-0012
<http://www.yayoi-yumeiji-museum.jp>

休館日 月曜日
 *ただし10/14、11/4(月祝)開館、翌10/15、11/5(火)休館
 開館時間 午前10時~午後5時(最終入館午後4時半まで)
 入館料 一般900円/大・高生800円/中・小生400円
 *竹久夢二美術館と2館併せてご覧いただけます。
 *高倉華育の常設ルームもご覧いただけます。

【「なかよし」表紙】左上より時計回りに1982年2月号、1987年2月号のあさぎり夕/講談社、1981年4月号のたかなししずえ/講談社、1992年3月号の秋元奈美/講談社、「なかよし」DEKA1984年10月のあべゆりこ/講談社、1993年12月号のNaoko Takeuchi、2019年8月号のCLAMP-ShipatsuTsutachi CO.,LTD./講談社、左下「なな色マジック」のあさぎり夕/講談社